

納車式で感動演出

日進機工

プレゼンテーションルームに全自動で登場

プラントメンテナンス・特殊装置設計施工の日進機工(林伸一社長、名古屋守山区)はプレゼンテーションの立体車両展示装置を開発した。展示装置から全自動で車両を搬送する仕組みで、納車式などで効果的な演出ができるのも特徴だ。

同社は「お客様に『感動』を与える」(林社長)ための販売戦略ツールとして2000年からディーラー向けに立体展示装置を提案。4段8

ディーラー向け 立体展示装置を開発



街のランドマークとしての存在感も

台、5段5台の2タイプがあり、全国の国産、輸入車ディーラーで設置が進んでいる。

今回はプレゼンテーションルームと一体化させたもので、埼玉県川越市のネットトヨタ東埼玉・マイネッツ川越が設置。従来は、展示装置から車両を搬送するためにエンジンをかけて動かす必要があったが、フロアに下りた車両をパレット



日進機工では、ハード設計製作だけでなく、周辺の市場状況、展示ノウハウ、活用方法などを合わせて提案している。ディーラーの要望をベースにフルオーダーメイドでの設計も好評を頂いており、今後もハードにソフト面も加えた製品として販売する方針だ。

日刊自動車新聞社が記事利用を許諾しています。